

「女性の活躍ワーキング・グループ」 起案書

1. 目的

1985 年に「男女雇用機会均等法」が成立してから 25 年強が経過し、その間 1997 年には「労働基準法」が改正され、所謂「女子保護規定」の廃止等の法制度も整備されてきたが、実際に企業等が個別に女性活用のための取組を強化し始めたのは、2005 年の「次世代法（次世代育成支援対策推進法）」が施行されてからといわれる。これにより、企業等は育児休業・育児休暇の取得推進や育児のための短時間勤務制度の導入等、女性が出産・子育てをしながら働き続ける環境の整備を進めた。

一方で、日本の女性の働き方は出産・子育て期に労働市場から退出し、子育てがひと段落した後で労働市場に戻る「M字型就業」であるのに対し、欧米は「台形型」で出産や子育て期にも労働市場から退出しない女性が多いことや、企業における女性管理職比率では日本は欧米に比べて低水準（日本:10.6%、ドイツ:29.9%、アメリカ:43.0%、スウェーデン:31.1%）である等、海外との比較においては日本の女性の活躍レベルはまだ低い。

女性の社会での活躍は、人口減少と少子高齢化に伴う労働人口の減少という日本が抱える課題に歯止めをかける上でも極めて重要であると共に、「老若男女が参加する」という当会が目指す「プラチナ社会」の構成要素の 1 つでもある。また、安倍政権がアベノミクスで進める成長戦略の中核にも位置づけられている。

当WGでは、海外との比較においても劣後しない日本の女性の社会での活躍を実現するため、真の障壁（課題）が何かを見極め、それをクリアするための検討を進めると共に、既に労働市場から退出している女性が労働市場で再び活躍できるようにするための社会全体の仕組みづくり等について検討し、各種提言や具体的な取組等を行うことを目指す。

2. 活動方法と活動テーマ

講師を毎回設定し、勉強会を月 1 回程度開催する。国内の企業・自治体等や、海外における下記テーマ等について議論・情報共有し、対応策等を纏める。

- (1) 様々な分野における、日本と海外での女性の活躍の状況比較と、これまでの夫々の企業・自治体等での取組経緯
- (2) 出産・子育て期の女性が働き続ける上での真の障壁の見極め、及び対応策
- (3) 既に労働市場から退出している女性が再び労働市場で活躍できるようにするための仕組み
- (4) その他女性の社会での活躍に向けた取組等

3. スケジュール

25/6～7月	WGメンバー募集
25/7月下旬	WGメンバー確定
25/8月	第1回WG開催（以降、月1回程度で6回程度開催予定）
26/3月目途	WG総括・終了

4. 体制

主査	本田 由紀氏 東京大学 大学院 教育学研究科 教授
アドバイザー	田中 俊之氏 武蔵大学 社会学部 社会学科 助教
運営主体	メンバーの中から選定
事務局	田中 信吾 プラチナ構想ネットワーク 副事務局長 犬山 絵美 プラチナ構想ネットワーク
メンバー	法人会員・自治体会員等で10～15団体程度を募集致します。 男性と女性が半分ずつの体制での運営を想定しておりますので、極力男性と女性が1名ずつのご参加をお願いします。 ➤ 募集期間 平成25年6月18日～平成25年7月19日 ➤ 応募方法 別紙のメンバー申込書をご記入の上、メール又はFAXにてお申込み下さい。 E-mail josei-wg-uketsuke@platinum-network.jp Fax 03-5204-9563 ➤ 参加費 無料 ✓ 受付は先着順とし、定員になり次第、締め切らせて頂きます。 ✓ お問合せは下記までお願い致します。 プラチナ構想ネットワーク 事務局 田中、犬山 Tel 03-6705-6216 100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3 東急キャピトルタワー9階

〔役割〕

- ・主査 WG全体の統括・方向性付け・助言等
- ・アドバイザー WGの運営に係る助言等
- ・運営主体 WGの運営全般取り纏め
- ・事務局 WGの運営に係る事務方

以上